

国語科授業のICT活用

思考の可視化

写真の拡大や縮小



アップしてみたら細かな工夫がされていることに気付いたよ!!

自分が気になる記号の写真を選択してその記号が何を伝えようとしているのかや、記号の工夫等を分析した。拡大と縮小ができるため、細かく分析することができた。(第3学年 気になる記号)

思考ツールの活用

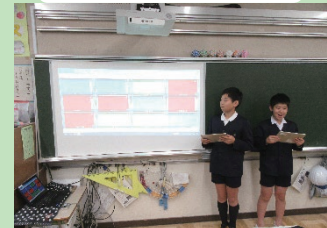


色や線で区別しながら自分の考えを広げることができたよ。

デジタル教科書のマッピング機能を使って集めた情報や自分の考えをまとめた。色や線で視覚的に分かりやすく整理することができた。(第5学年 明日をつくるわたしたち)

共有の円滑化

考えや意見の共有



この理由にはみんなが賛成してくれた!! 2回目の主張に活かせるかも…。

発表者の主張に対して聞き手がどのように感じたかを視覚化するために、賛成の場合は青、反対の場合は赤、迷っている場合は緑を提示して黒板に投影した。発表者は聞き手がどのように受け取っているのかをすぐに知ることができた。(第6学年 学級討論会をしよう)

クラス全体での振り返り



この班の人はきちんと人の話を聞いているから発表の内容に合った質問ができているね。

班での話し合い活動の様子を動画で撮影してクラス全体で振り返りを行った。上手な発表や質問の仕方を見ることで、どのようにすると話し合いがよりよくなるのが児童の中で明確になった。(第1学年 ともだちに、きいてみよう)

資料の提示



写真や絵を見ながら発表を聞くと話のイメージがしやすいね。

発表原稿の内容が友達に伝わりやすいようにPower Pointを活用して資料を作成した。簡単な文章やキーワードと共に写真やイラストを提示することで聞き手が内容の理解をしやすくなることももちろん、話し手の発表メモの役割も果たした。(第4学年 だれもが関わり合えるように)

試行の繰り返し

感想の書き込み



間違えたり考えが変わったりしても、すぐに消して書き直せるね。

児童が書いた文章をタブレットで撮影し、読み手が感想やよかった部分を書き込んだ。タブレット端末にタッチペンで書き込むことで何度も書き直すことができた。また、文章や読み手が書いた感想を保存することで、次に文章を書くときに参考にすることができた。(第2学年 こんなもの、見つけたよ)

課題把握

課題追究

課題解決

1 課題解決型学習を保障するための単元計画

第4学年

「だれもが関わり合えるように」

話題の設定

課題と出会う・課題をもつために、総合的な学習の時間で車いす・点字・盲導犬などの福祉体験を行い、調べる話題を決めた。

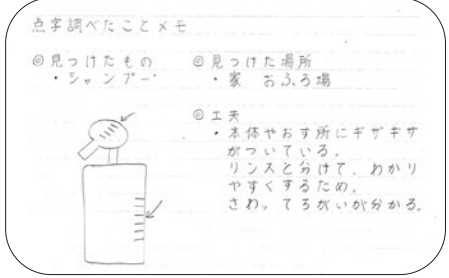
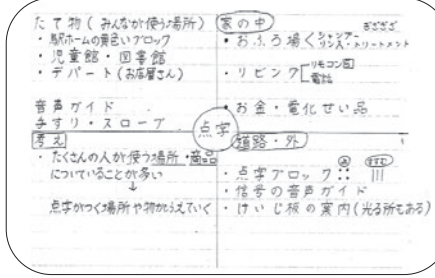


情報の収集

身近な人にインタビューをしたり、本やタブレット端末を活用してインターネットで課題について調べたりした。

構成の検討

話の内容が明確になるように、集めた資料は項目を立てたり、分類をしたりして整理した。どの順番で発表をしたら分かりやすいかを理由や事例を挙げながら発表の構成を考えた。



表現

分かりやすい発表をするために、発表のときに気を付けるポイントを発表原稿に書き込んだ。

集めた資料を整理し、発表資料としてパワーポイントにまとめた。



共有

資料を提示しながら、言葉の抑揚や強弱、間の取り方を意識して発表した。

必要なことを記録したり質問したりして、自分の考えと比べながら聞いた。



振り返り

振り返りの時間に自己評価を行い、単元を通して児童が身に付けた力や次時に取り組む課題を確認した。

2 主体的に学ぶための学習活動の工夫

<学習の見通しをもつ>

課題を達成するための学習計画を提示し、これからどのように学習を進めていくかを明確にした。また、学習のキーワードになる部分にラインを引いて児童に意識させた。

学年	単元	学習活動
1	国語	国語の授業でICT活用
2	国語	国語の授業でICT活用
3	国語	国語の授業でICT活用
4	国語	国語の授業でICT活用
5	国語	国語の授業でICT活用
6	国語	国語の授業でICT活用



<よいモデルを示す>

教師による手本やねらいに沿った活動、ゴール像に近い児童を全体に示して共通理解を図ることで、どのような活動をするよいかを分かりやすく示した。

<相手意識・目的意識をもつ>

学習活動が明確になるように、初めに伝える相手や目的を確認した。

【例】2年生から1年生へ：学校探検 3年生から2年生へ：伝えよう、楽しい学校生活・地域安全マップ 4年生から3年生へ：クラブ活動の報告 6年生から5年生へ：移動教室の報告 など

<話題の決定>

自分たちが関心のある事柄や身近な内容から課題や話題を設定することで、自分のこととして捉え、より充実した活動になるようにした。

【例】6年生「学級討論会」 5年生「夏休みの自由研究から環境についての提案書を書く」 1年生「友達のがんばりについて」 など

3 対話的に学ぶための学習形態の工夫



<推敲・意見交流>

本発表の前に、同じ内容を調べた児童が集まり、発表の仕方や原稿の内容についてアドバイスをを行った。グルーピングは学年や話題によって『2人→4人→同じ意見の人たち→全体』と段階を追って編成した。発表者が自分の発表を振り返ることができるようにICTの動画撮影機能を使用した。

<取材>

課題を解決するために学習課題について詳しい人にインタビューをして情報を得た。



日常的なICTの活用

児童の技能習得のために

ICT指導計画表を基に技能習得につながる活動を整理

→週1回、朝の15分間で行うタブレットタイムや各教科を通して技能を習得

ICT指導計画表(第5学年・第6学年)

学年	教科	活用内容
5年	算数	11-2 Pepperにプログラミング
	国語	10-3 簡単なプログラム作成
6年	国語	11-2 Pepperにプログラミング
	国語	11-2 Pepperにプログラミング

活動例

・基本操作 ・写真、動画撮影 ・インターネットの使い方 ・タイピング練習 ・Word、Excel、Power Point
<プログラミング>
・Pepper ・Minecraft ・Scratch

教師のICT活用

デジタル教科書

重要な文や言葉に線を引いたり、言葉を書き込んだりして文章構成の理解や考えの整理に活用した。色や線の太さを変えることで児童に視覚的に分かりやすく伝えることができた。

学習ソフト

週に3回ある15分間の基礎学習では漢字を覚えたり、算数の問題を解いたりしている。漢字の書き順を投影して全体で確認したり、タブレットで自分の苦手な漢字や計算を復習したりした。

記録・保存

児童が書いた文章や振り返りを記録・保存することで学習の記録や児童の変容をより深く理解したり比較したりするなど、評価に活用することができた。

投影

児童の書いた文章や写真、教材等を黒板に貼ったスクリーンに拡大投影することで、全体での共有を円滑に行うことができた。教師が手本を示すときにも活用した。

※他学年は別紙掲載